

安全データシート（SDS）

整理番号：DS0007-0258

作成日：2026/02/02

<供給者情報>

供給者：三菱電機メカトロニクスエンジニアリング株式会社

住 所：愛知県名古屋市東区大幸南1丁目1番9号

電 話：下記番号までご連絡ください。

機種	担当部門	電話番号
放電加工機	EDM事業部	052-719-7121
レーザ加工機	レーザ事業部	052-719-7980
数値制御装置（CNC）	NC事業部	052-722-4076

<製品名>

グリース（以下、「DEFRIC GREASE MPC-5」）

安全データシート

1. 化学品及び供給者情報

製品名	DEFRIC GREASE MPC-5
製品説明	潤滑油
供給者の会社名称	三菱電機メカトロニクスエンジニアリング株式会社
住所	愛知県名古屋市中区大幸南1丁目1番9号
緊急連絡先	052-719-7121

2. 危険有害性の要約 (GHS 分類及びラベル要素)

GHS 分類

物理化学的危険性：	区分外
人健康有害性：	分類基準に該当しない
環境有害性：	分類基準に該当しない

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル	なし
注意喚起語：	なし

危険有害性情報：なし

注意書き

[安全対策]

使用前に取扱説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋・保護眼鏡・保護面を着用すること。
眼に入れないこと。
飲み込まないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取り扱い後は手をよく洗うこと。

[応急処置]

皮膚または毛にかかった場合：多量の石鹼と水で洗うこと。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断を受けること。
取り扱った後は手を洗うこと。
気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断をうけること。
漏出物を回収すること。

[保管]

容器を密閉して涼しく換気の良い一定の場所を定めて貯蔵すること。

【廃棄】

内容物や容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

その他の有害性

特になし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

通知対象成分及び含有量

成 分 名	CAS. No.	含有量%	備 考
ミネラルオイル	—	85-95	
増ちょう剤	—	1-10	
二硫化モリブデン	1317-33-5	5.0	PRTR 1-453 モリブデン及びその化合物 モリブデンとして 3.0%

4. 応急措置

吸入した場合： 気分が悪くなったときは、直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静にする。嘔吐物は飲み込ませないようにする。

皮膚に付着した場合： 付着物は布ですばやくふき取り、大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。外観に変化があり痛みがある場合は医師の診断を受ける。

目に入った場合： 直ちに大量の清浄な流水で 15 分以上洗う。
まぶたの裏まで完全に洗う。医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合： 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
嘔吐物は飲み込ませないようにする。ただし、無理に吐き出させてはいけない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤： 水

消火方法： 棒状の水を消火に用いてはならない。
適切な保護具を使用する。
可燃性のものを周囲から速やかに取り除く。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

付近の着火源、高温体及び可燃物を速やかに取り除く。

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル）を着用する。

環境に対する注意事項

漏出物を直接、下水や河川に流してはいけない。

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方針及び機材

乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛り土で囲って流出を防止する。

流出物は密閉出来る容器に回収し安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、関係法規にもとづいて処置をすること。

7. 取扱及び保管上の注意

取扱上の注意

換気の良い場所で取り扱う。

容器はその都度密栓する。

周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入ったりしないように適切な保護具を着用する。

取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

安全な保管条件

通風のよいところに保管する。

日光の直射をさける。

火気、熱源から遠ざけて保管する。

安全な容器包装材料

密封できるポリエチレン容器、スチール缶等

8. 暴露防止及び保護措置

物 質 名	許容濃度		管理濃度
	ACGIH TLV-TWA	日本産業衛生学会	
ミネラルオイル	5 mg/m ³	3 mg/m ³	—
増ちょう剤	—	—	—
二硫化モリブデン	3 mg/m ³ (Mo)	—	—

設備対策

屋内で取り扱う場合は、作業場所に局所排気装置をもうける。

保護具

呼吸系の保護 有機ガス用防毒マスク又は、送気マスクを着用する。

目の保護 保護眼鏡を着用する。

皮膚の保護 長袖、長ズボン並びに保護手袋を着用する。

その他の保護 特になし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体（ペースト状）
色	灰黒色
臭い	わずかに臭う
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	あり
爆発下限界及び上限界/可燃限界	1 ～ 7 Vol. %
引火点	> 200 °C
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
蒸気圧	－ kPa (°C)
比重	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他	特になし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常取り扱いにおいては安定
危険有害反応可能性	高温、火気により引火のおそれあり
避けるべき条件	高温、火気
混触危険物質	ハロゲン類、強酸、アルカリ類、酸化性物質
危険有害な分解生成物	CO _x 、乾燥粉末、水蒸気
その他の危険性情報	特になし

11. 有害性情報

※ 製品としてのデータなし

急性毒性	経口 (LD50)	経皮 (LD50)	吸入 (LC50/4h)
ミネラルオイル	区分外 (> 5g/kg)	区分外 (> 5g/kg)	区分外 (> 5g/L)
増ちょう剤	分類できない	分類できない	分類できない
二硫化モリブデン	区分外 (> 2000 mg/kg)	区分外 (> 2000 mg/kg)	分類できない

皮膚腐食性及び刺激性	該当なし
目に対する重篤な損傷性 又は刺激性	該当なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当なし

生殖細胞変異原性	該当なし
発がん性	該当なし
生殖毒性	該当なし
特定標的臓器毒性（単回暴露）	該当なし
特定標的臓器毒性（反復暴露）	該当なし
誤えん有害性	該当なし
その他の有害性情報	該当なし

12. 環境影響情報

急性毒性	水生環境有害性（急性）	水生環境有害性（慢性）	オゾン層への有害性
ミネラルオイル	区分外	区分外	分類できない
増ちょう剤	区分外	区分外	分類できない
二硫化モリブデン	区分外	区分外	分類できない

生態毒性	製品としてのデータなし
残留性・分解性	製品としてのデータなし
生態蓄積性	製品としてのデータなし
土壌中への移動性	製品としてのデータなし
その他の有害性	製品としてのデータなし

13. 廃棄上の注意

廃塗料、容器などの廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。
 容器、機器装置等を洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さないこと。
 廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

国連番号：	－
品名：	グリース
国連分類：	－
容器等級：	－
海洋汚染物質Y類：	－
Z類：	－
指針番号：	－

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法に定められる運送方法に従うこと

海上輸送：船舶安全法、海洋汚染防止法に定められるところに従うこと

航空輸送：航空法の定めるところに従うこと

15. 適用法令

労働安全衛生法：名称等を表示すべき危険物及び有害物、名称等を通知すべき危険物及び有害物
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）

海洋汚染防止法：油分排出規制

下水道法：鉱油類排出規制（5mg/L）

水質汚濁防止法：油分排出規制（5mg/L 許容濃度）

廃棄物の処理および清掃に関する法律：産業廃棄物規則（拡散、流出の禁止）

16. その他

主な引用文献： 化学物質管理促進法対象物質全データ（化学工業日報社）
MSDS 用物質データベース 第 6 版（日本塗料工業会）
化学品の分類及び表示に関する世界調和システム（GHS）改訂 7 版
国際化学物質安全性カード（ICSC）
許容濃度等の勧告（2019 年度）（日本産業衛生学会）
厚生労働省・環境省分類結果（平成 31 年改訂版）
AGCIH（2019）
JIS Z 7252：2019 GHS に基づく化学物質等の分類方法

※ 注意 ※

当データシートに記載のデータは代表値であり、保証値ではありません。

危険、有害性のデータは必ずしも十分ではありませんので取り扱いには十分注意してください。